



2026年4月2日

各位

会社名 売れるネット広告社グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 植木原宗平
(コード番号: 9235 東証グロース)
問合せ先 執行役員 後藤祐弥
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ (9235)

ECサイトAI更新基盤「売れるAI ECデザイナー」を提供開始

～自然言語でEC更新、AI×Vibe Codingで制作不要へ～



売れるネット広告社グループ、 ECサイトAI更新基盤「売れるAI ECデザイナー」を提供開始 ～自然言語でEC更新、AI×Vibe Codingで制作不要へ～

売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：植木原宗平、東証グロース市場：証券コード9235、以下 売れるネット広告社グループ）の連結子会社である売れるAIマーケティング社株式会社（以下 売れるAIマーケティング社）は、ECサイトのデザイン修正・コンテンツ更新を自然言語の指示のみで実現するAI基盤サービス「売れるAI ECデザイナー」の提供を開始いたしました。

本サービスは、自然言語によるコーディング手法「Vibe Coding」をEC運営領域に実装したものであり、非エンジニア・非デザイナーの担当者が、日本語による指示だけでECサイトのテンプレートファイルをAIが直接書き換える仕組みを提供いたします。

初期対応はShopifyから開始し、今後は主要ECプラットフォームへの対応を順次拡大してまいります。

【サービス概要：「売れる AI EC デザイナー」とは】

「売れる AI EC デザイナー」は、EC サイトのデザイン修正・レイアウト変更・コンテンツ更新を、自然言語の指示のみで完結させる AI 基盤構築支援サービスです。

従来、EC サイトの改善には HTML/CSS やテンプレート言語（例：Shopify の Liquid）といった専門知識が必要であり、外部制作会社やエンジニアへの依存が不可欠でした。

本サービスでは以下をワンストップで提供いたします。

- ・ AI 基盤の導入および社内環境構築支援
- ・ EC サイトに特化したコンテキスト設計（プロンプト・ルール・構造定義）
- ・ 自然言語による Vibe Coding を活用したテンプレートの自動書き換え

これにより、「バナーを改善したい」「レイアウトを変更したい」といったマーケティング施策を、担当者自身が即時実行できる環境を実現いたします。

【本質的な価値：“制作依頼”というボトルネックの解消】

本サービスの最大の価値は、単なる AI ツールの提供ではなく、EC 運営における“制作依頼”という構造的ボトルネックを解消する点にあります。

売れる AI マーケティング社は、導入企業ごとに EC サイト構造を解析し、AI が正確にコード生成・修正できる専用コンテキストを設計することで、安全かつ再現性の高いサイト更新を実現いたします。

これにより、従来の「企画 → 制作依頼 → 修正 → 反映」というプロセスは、「企画 → 指示 → 即時反映」へと進化します。

【EC 事業者の課題と提供価値】

EC 市場の競争は、更新スピードと改善回数が成果を左右するフェーズへ移行しております。一方で多くの事業者は、制作リソース不足により機会損失を抱えております。

本サービスの導入により、以下の効果が期待されます。

- ・ 外部制作コストの削減
- ・ 施策実行までのリードタイム短縮
- ・ マーケティングチームによる自律的な改善体制の構築
- ・ A/B テストおよび LP 改善の高速化
- ・ PDCA 回転数の増加による売上最大化

【収益モデルと当社グループ戦略との連動】

本サービスは、単体での SaaS 収益に加え、売れるネット広告社グループの既存事業との強いシナジーを創出いたします。

- ・ デジタルマーケティング事業との連携による顧客単価向上
- ・ D2C・EC 支援領域における提供価値の高度化
- ・ AEO（売れる AI 最適化）との統合による AI 支援の高度化
- ・ Agentic Commerce 領域への拡張

これにより、単なるツール提供にとどまらず、「AI を中核とした EC 成長支援基盤」への進化を目指します。

【今後の展開】

短期的にはShopify 対応における導入実績を積み上げ、サービスの精度および再現性を向上させてまいります。中期的には主要 EC プラットフォームへの対応拡張を進め、提供対象市場を大きく拡大いたします。将来的には、AEO および Agentic Commerce との統合を進めることで、**AI による自律的な EC 運営基盤の確立**を目指してまいります。

本件による売れるネット広告社グループの連結業績に与える影響は現時点では軽微と考えておりますが、**2026 年 7 月期の連結業績にプラス寄与**を見込んでおります。

今後も当社グループは、AI 技術を実務に適用することで、持続的な事業成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

以 上